

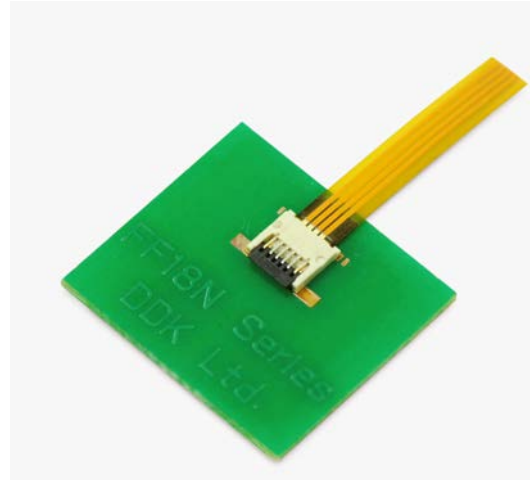
0.4 mm ピッチ超低背 FPC 用コネクタ

FF18N Series 【上下両接点タイプ】



概 要

FF18N シリーズは、0.4mm ピッチ、0.12mm 厚の FPC に適合したコネクタで、ケーブルロック機構を備えています。コネクタ高さは 0.66mm と超低背でありながら、上下接点共用コネクタです。



特 長

- ◆ 上下接点共用のため、FPC の嵌合方向を問いません。
- ◆ 弊社独自のカム式バックロック採用により、確実な作業が行えます。
- ◆ 弊社独自のケーブルロック機構を採用し、FPC 保持力不足を解消いたします。
- ◆ FPC を上方向に引張り上げても、ロックが開きません。
- ◆ ロック解除状態で納入の為、作業前にレバーを開く必要がありません。
- ◆ ニッケルバリアの採用により、はんだ上がりを防止しています。
- ◆ 自動実装に対応したエンボステーピング供給です。
- ◆ 耐熱性樹脂を採用し、リフローはんだ付けに対応しています

注意 ※ FPC を挿入しない状態でロックレバーを閉じないで下さい。

※ FPC をコネクタに嵌合すると、ケーブルロックタブは両端の端子と導通します。

ケーブルロックタブをグラウンドに落とさないで下さい。

用 途

タッチパネル接続、LCD バックライト接続、カメラ接続、サイドキー接続、その他アクセサリ接続等、

仕 様

定格電圧	AC 50V (r.m.s.)
定格電流	0.4A / コンタクト
耐電圧	AC 200V(r.m.s.) / 1 分間
絶縁抵抗	DC 500V で 100 MΩ 以上
接触抵抗	50m Ω 以下
挿抜回数	10 回
使用温度範囲	-55℃ ~ + 85℃



材 質 / 表面処理

部 品 名	材 質 / 表面処理
コンタクト	銅合金 / Ni 下地 Au フラッシュめっき
ハウジング	LCP 樹脂 (UL94V-0) / アイボリー
ロックレバー	PPS 樹脂 (UL94V-0) / 黒色

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

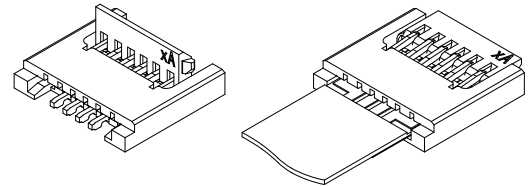
また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

▶ 超低背コネクタ【上下両接点タイプ】

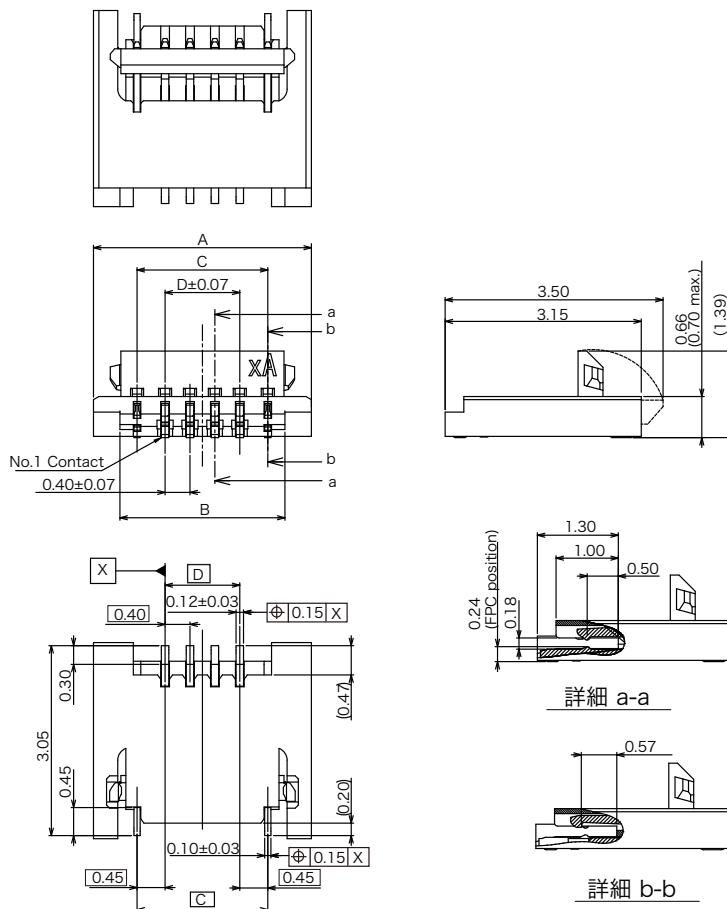
FF18N- A-R11A-3J

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

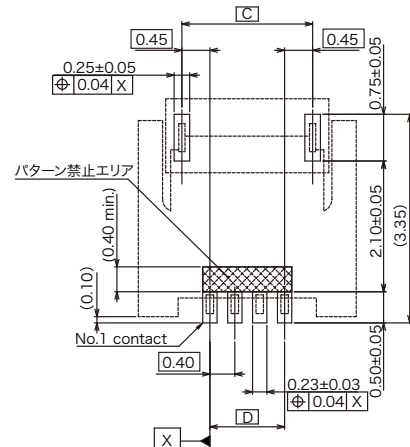
①シリーズ名	FF18N
②芯数	表-1 参照
③接点形状	A：上下両接点、適合 FPC 厚：0.12±0.03mm
④コンタクトスタイル	R：ライトアングル
⑤コンタクトピッチ	1：0.40mm
⑥コンタクト表面処理	1：Ni 下地 /Au（フラッシュ）めっき
⑦スライダー形状	A：標準タイプ
⑧材料	3J：ハロゲンフリー、PFAS フリー



◆形状寸法



◆推奨基板寸法



◆推奨 FPC 寸法

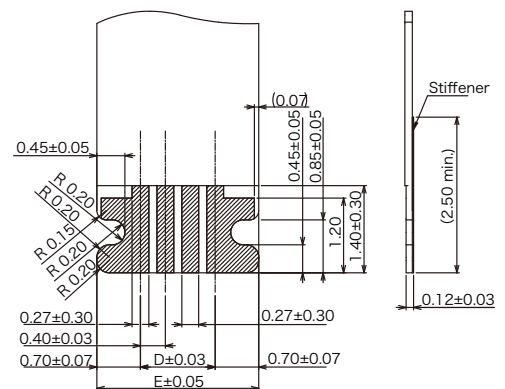


表-1

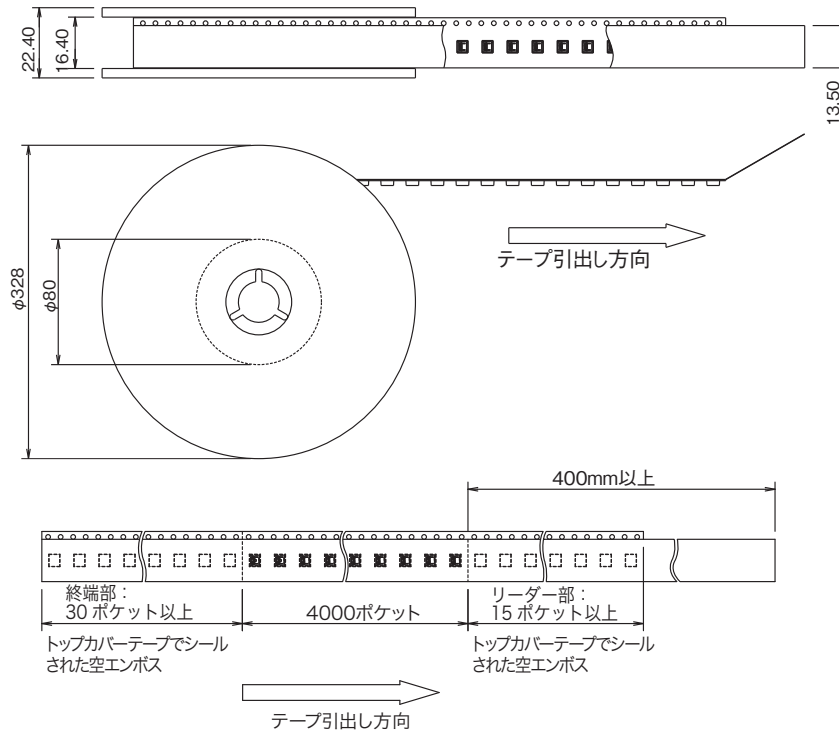
品名	芯数	A	B	C	D	E
FF18N- 4A-R11A-3J	4	3.50	2.65	2.10	1.20	2.60

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

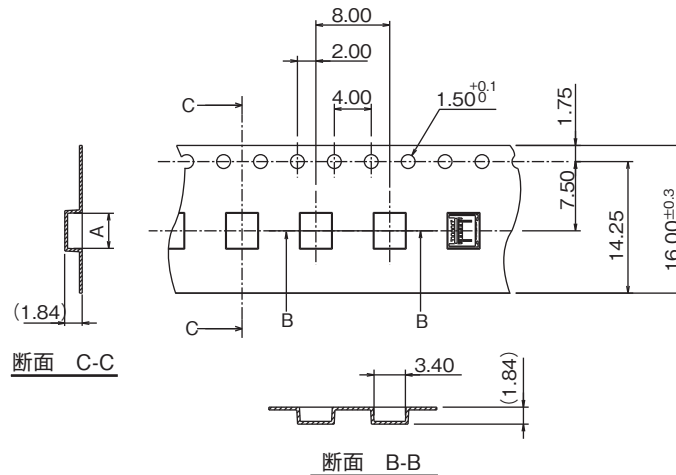
また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

梱包仕様

リール状態寸法図



エンボスカリヤテープ寸法図



品 名	芯 数	A
FF18N- 4A-R11A-3J	4	3.80

梱包単位：4000 / リール

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

▶ コネクタ操作方法と注意点

1. コネクタ実装状態

ロックレバー開放状態で納入となりますので、FPCを挿入する前に、ロックを操作する必要はありません。(写真①参照)

ロックを閉じた状態でリフロー実装をしないで下さい。

FPC 未挿入状態でロックレバーを閉じないでください。

FPC 未挿入状態でロックレバーを閉じると、接点間ギャップが狭くなり、FPC 挿入力が上昇します。(写真②参照)

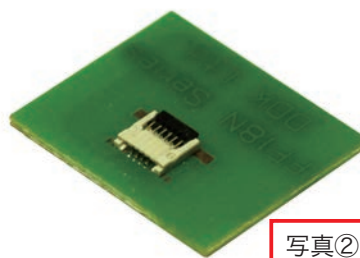
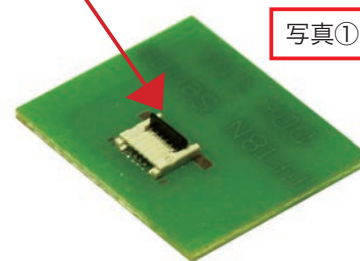
ロックレバー真上から、荷重をかけないで下さい。(図①参照)

又、反ロック方向に荷重をかけないで下さい。(図②参照)

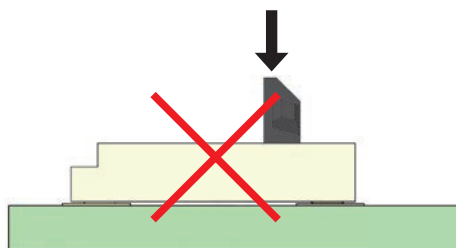
ロック破損、もしくは端子変形の原因となります。

納入時、ロックレバーは解放状態です

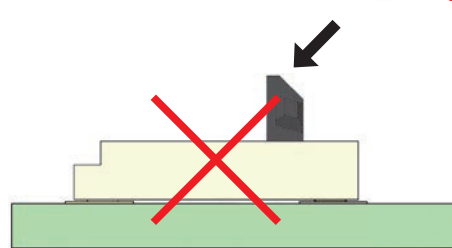
写真①



写真②



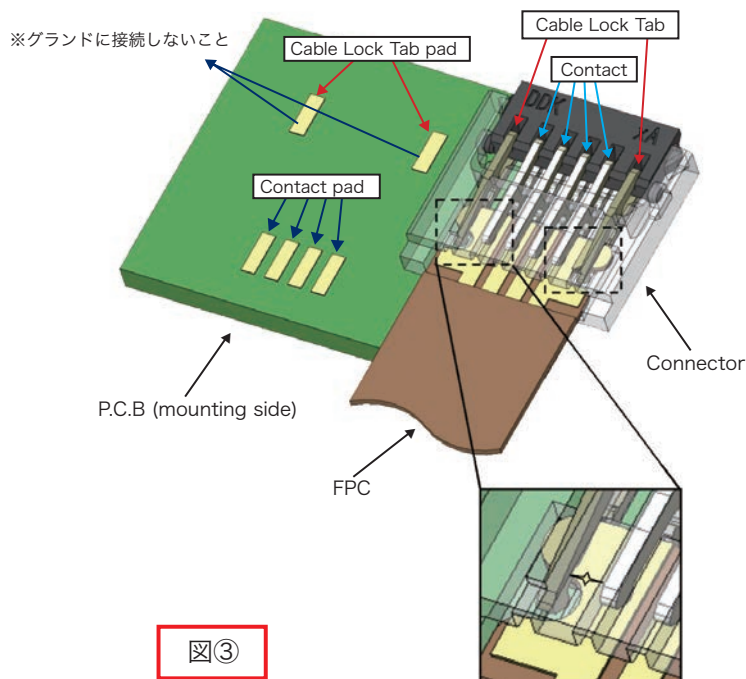
図①



図②

FPC をコネクタに嵌合すると、ケーブルロックタブは両端の端子と導通します。

ケーブルロックタブの実装ランドをグラウンドに落とさないでください。(図③参照)



図③

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

コネクタ操作方法と注意点

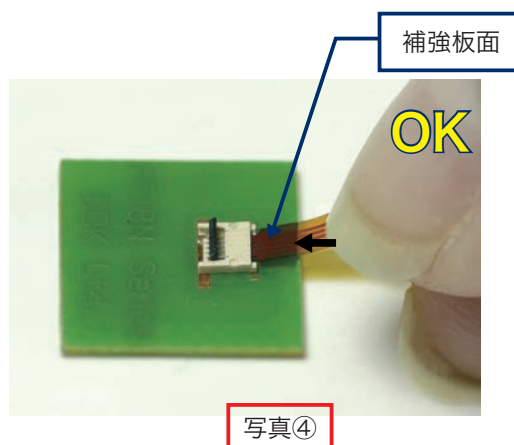
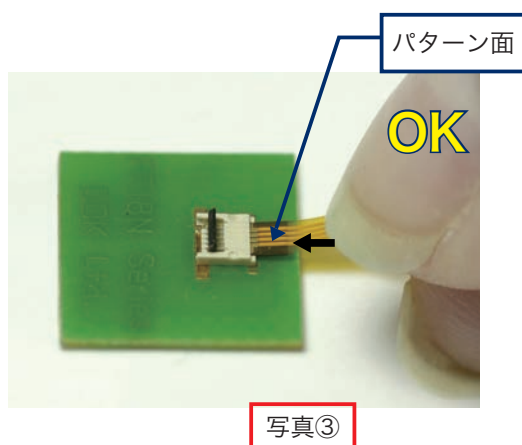
2. FPC 挿入方法

上接点使用時にはFPC導体面を上、下接点使用時には補強板面を上にして、挿入します。(上接点：写真③参照、下接点：写真④参照)

FPCをコネクタに対して真っすぐに挿入して下さい。

FPC仮保持機構を採用している為、挿入に若干の力が必要です。

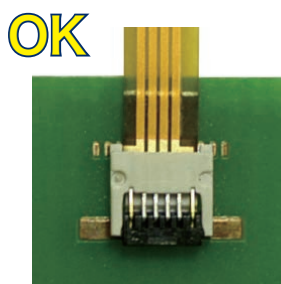
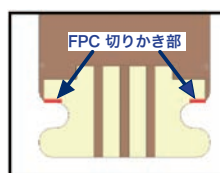
FPCがしっかり奥まで挿入出来ているか、確認してください。



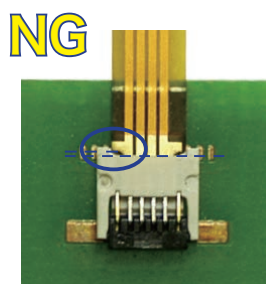
3. FPC 確認方法

ハウジング上壁直線と、FPC切りかき部を比較する事により、浅挿入、斜め挿入を、確認、防止する事が出来ます。(写真⑤、写真⑥、写真⑦参照)

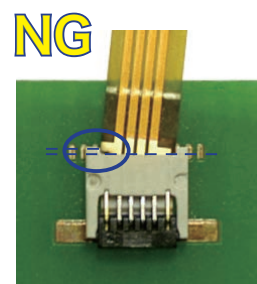
ハウジング上壁直線から、FPC切りかき部が突出している場合は、浅挿入、斜め挿入の可能性があります。再度FPCを奥まで挿入してください。



写真⑤：正常挿入状態



写真⑥：浅挿入状態



写真⑦：斜め挿入状態

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>

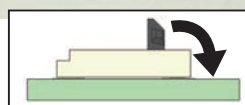
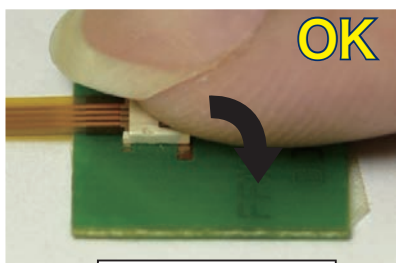
▶ コネクタ操作方法と注意点

4. ロック方法

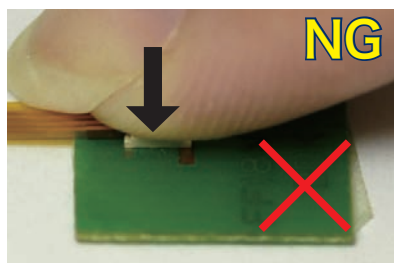
回転させる要領で、ロックレバーを押し下げます。(写真⑧)

その際に、ハウジングに無理な力をかけないように注意して下さい。(写真⑨)

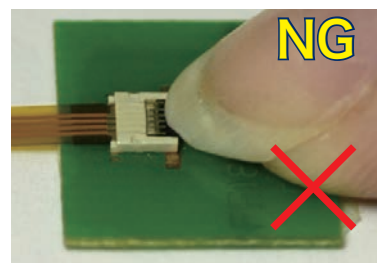
爪の先端でロックしないでください。ロック破損の原因となります。(写真⑩)



写真⑧



写真⑨

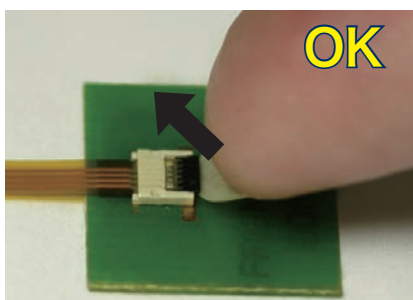


写真⑩

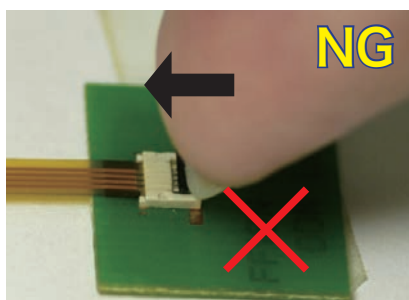
5. FPC 抜去方法

ロックレバーを矢印方向に軽く跳ね上げる要領で、押し上げます。(写真⑪)

その際に、必要以上の力をロックレバーにかけないように注意して下さい。(写真⑫)



写真⑪



写真⑫

6. ESD(静電耐電圧)

本コネクタは、ESD 対策をしておりませんので、取扱時には注意して下さい。

7. コネクタ廃却方法

産業廃棄物として処理して下さい。

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>